

製品名: CCR7 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87677**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:43 kDa; Observed MW:43 kDa

抗原情報

遺伝子名	CCR7
別名	BLR2; EBI1; CCR-7; CD197; CDw197; CMKBR7; CC-CKR-7
遺伝子 ID	1236
SwissProt ID	P32248
免疫原	ヒト CCR7 の合成ペプチド

背景

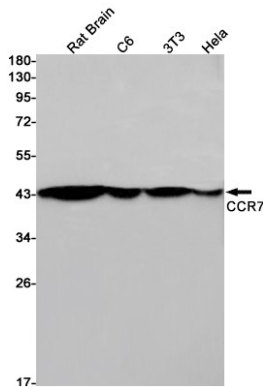
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Gタンパク質共役受容体ファミリーのメンバーです。この受容体は、エプスタイン

ン・バーウイルス (EBV) によって誘導される遺伝子として同定され、B リンパ球に対する EBV の作用のメディエーターであると考えられています。この受容体は様々なリンパ組織で発現し、B リンパ球および T リンパ球を活性化します。炎症組織へのメモリー T 細胞の遊走を制御し、樹状細胞の成熟を促進することが示されています。ケモカイン (C-C モチーフ) リガンド 19 (CCL19/ECL) は、この受容体の特異的リガンドであることが報告されています。この受容体によって媒介されるシグナルは、リンパ節における T 細胞の恒常性を制御し、T 細胞の活性化と分極、そして慢性炎症の病態形成にも機能している可能性があります。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 9 月]

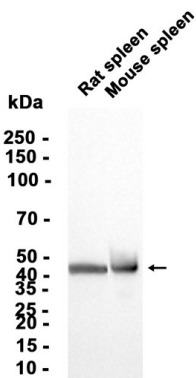
研究分野

-

画像データ



CCR7 抗体 (1:1000 希釈) を使用したラット脳、C6、3T3、Hela 細胞溶解物中の CCR7 のウエスタンブロット検出。



AMRe87677 を 1:2000 で使用して、ラットの脾臓、マウスの脾臓組織からの抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。